

GREEN RADER

全農長野県本部情報
／グリーンレーダー

2023 VOL.524

1

◆「第37回くらしと牛乳、牛さんありがとう」絵のコンクール金賞受賞作品

長野県知事賞



齊藤野乃さん 小川小学校 (5年生)



夏目一本さん 高山小学校 (2年生)



高橋つむぎさん 日向幼稚園 (4歳)

長野県教育委員会賞



小木曾寧久さん 古里小学校 (5年生)



平林真哉さん 川中島小学校 (6年生)



小林凜さん 東保育園 (5歳)

長野県牛乳普及協会賞



西澤春希さん 須坂小学校 (4年生)

(一社) Jミルク会長賞



高橋末咲希さん
日向幼稚園
(4歳)



久保かぐらさん
栗が丘小学校
(6学年)



深瀬悠斗さん
長沼小学校
(11歳)

🌸 新春にあたって ～令和五年 年頭メッセージ～

A-Policy【重点事業方針】

生産購買部 包装資材課の取組み

・2022年 各部のトップニュース 03

A-Reports

・先進農業機械を見て触れて体感！

「JAスマート農業機械体感フェア」開催 07

・「第40回牛乳・乳製品利用料理コンクール」開催 08

・「第37回くらしと牛乳、牛さんありがとう」絵のコンクール
表彰式を開催 08

・花き生産者が小学校で出前授業 09

・「OBCラジオまつり ふれあい広場2022」で
果実、きのこなどを販売 09

・JA全農長野の事業現況 10

・今月のおすすめレシピ 10

・1月のラジオ番組表 10

・編集後記 10



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

新春にあたって

令和五年 年頭メッセージ

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年、長野県内は大きな災害もなく、農家の皆様のたゆまぬ努力によつて無事収穫を迎えることができました。しかし、日常に目を向けると、

ロシアのウクライナ侵攻による情勢不安、大幅な円安に加え、世界的な人口増加に伴う需要増や地球温暖化が原因の干ばつ、天候不順による穀物相場の上昇のほか、原油価格高騰による物流コストの上昇、さらにはコロナウイルス感染拡大などにより大きな負担を強いられました。

また新型コロナウイルスについては、緊急事態宣言などの行動制限はなかったものの、労働力確保や農畜産物の消費動向に大きな影響を与え続けました。

本県でも、十一月下旬に過去最多の感染者数となり、未だ予断を許さない状況が続いております。

さて、JAグループが一丸となつて進めているJA自己改革においては、生産資材価格の引き下げや輸出の拡大、他業種との事業連携による販売拡大など、一定の評価を得ているものの自己改革に終わりはなく、不断の改革をさらに推し進める必要があります。

一方国際貿易においては、昨年一月一日に東アジア地域包括的経済連携(RCEP)が発効され、さらに日中韓FTA交渉も継続されるなど、今後ますます輸入農畜産物の拡大による国内農業への影響が懸念されます。さらには、政府主導による自由貿易交渉の加速により農業者の不安が増していることから、農業者が将来に希望を持てる政策・対策を、政府・与党には引き続き強く訴えてまいります。

長野県本部の運営につきましては、今後とも県本部総合経営管理体制の堅持という県本部経営管理の基本をふまえ、会員JAとの一体的な事業運営

を進めてまいります。生産販売から購買まで一貫する総合経済事業を通してJA組合員の営農と生活の向上に貢献するという基本理念に沿い、運営委員会会長として、引き続き健全な事業運営と長野県農業の発展に努力していく所存であります。

本年は「2022～2024 JA長野県3カ年計画重点事項」に連動した「県本部中期事業計画(2022～2024年度)」の二年目となります。本計画は、①持続的な農業生産基盤づくりによる農業生産量の維持拡大、②販売力強化とコスト低減による農家組合員の手取り最大化、③JA経済事業の活性化による活気ある地域社会づくりを基本目標としています。

特に昨今の原材料価格や輸送コスト高騰への対策として、農産物販売価格向上と生産経費圧縮に向けた取り組みを、JAおよび関係機関との連携により実践し、農業所得向上に向けた機能発揮に努めるとともに、

本計画の確実な実践を通じてJA組合員へのメリット還元に取り組んでまいります。

あわせて、急速に進展するデジタル化、持続可能な社会への取り組みなど、まさに時代の転換期の中、AIやIoTを活用したスマート農業の普及などの課題にも果敢に挑戦してまいります。

本年は「卯年」です。兎には跳ねる特徴があるため、景気が上向きに跳ねる、回復するといわれています。先行き不透明な状況が好転し、停滞している経済が飛躍することを願ってやみません。

最後になりますが、組合員をはじめ地域の皆様のご健勝で、災害のない実り多い年となりますようご祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

全国農業協同組合連合会長野県本部
運営委員会会長 神農 佳人



包装資材課

生産購買部 包装資材課の取組み

J A全農長野包装資材課は、段ボールの材質の見直しによる価格抑制および機能性の高い包材の検討・開発に取り組むことを重点方針として事業を進めました。

■段ボールの材質の見直しおよび機能性を付加したアイテムの推進

資材価格が高騰している中、段ボール価格の抑制を図るため、材質変更の検討を継続して進めました。全農独自原紙である「AK180ライナー」と同等の強度を保ちながら軽量化を図ることを目的に新規開発した「AK170ライナー」を用い、ぶなしめじを中心とした品目で令和2年から輸送試験を継続して実施しま



AK170 ライナーのトラック輸送試験

した。この結果、「AK180ライナー」と比べ大きな差異は見られなかったため、令和4年12月1日より切替えを開始し、段ボールのコスト抑制に繋がりました。

また、ハクサイなどの重量品目を箱詰めする際、段ボールのコーナー部分が縦に裂けてしまう事があります。そこで段ボールの縦割れ防止の機能を持った「アーチカット」の提案を行い、輸送試験を実施した結果、段ボールの縦割れの抑制が見られたため一部J Aへ導入されました。



AK170 ライナーの倉庫での積み上げ試験



アーチカット

■きのこ用フィルムに適した鮮度保持フィルムの検討

鮮度保持フィルム「e i Green」が新規開発されたことから、従来の鮮度保持フィルムと比較検討し、機能性の評価を行いました。

従来の鮮度保持フィルムは、有孔により酸素や二酸化炭素、水蒸気等の通気をコントロールするのに対し、「e i Green」はフィルムの外側を加

工することにより振動エネルギーが発生し内容物の水分に作用することで、水分活性を促し、鮮度を保ちます。

これはフィルムの特加工により、

食品中に含まれる水分のクラスターを単分子化し、食品細胞内の水分が活性度の高い水となり、解離水やマイナスイオンの発生を促進するものです。試験においても活性度の高い水が食品細胞内に取り込まれ、鮮度を保つ効果が現れました。

従来の鮮度保持フィルムと比較し、袋内結露が少ないことや包装したきのこに締めりがある点も見られ、優位性も確認できました。また、低温(10℃)での貯蔵試験においても、傘の白さの持続性が見られ、従来の鮮度保持フィルムと、同等あるいはそれ以上の貯蔵性を示すことも確認できました。

これらの試験結果により、鮮度保持フィルムとして機能性が高いことが示されたため、今後導入に向けて検討して参ります。

2022年 各部の

トツプニュース



【生産振興部】

①ピーマン生産振興の取組み

生産振興部では、果菜類振興の1アイテムとしてピーマン振興を進めています。徐々に産地形成が進み機運が上昇するなか、売り場確保に向けた収量性・商品性のレベルアップを目指し、各種技術開発と普及を進めています。

特に今年度は「施設化による収量・商品性向上」「顧客に求められる品種への移行」を目的とし、各種実証及び現地試験を展開してきました。資材高騰の状況下における簡易雨よけハウスの投資効果および有望品種において一



圃場でのJA関係者への説明

定の成果も出ているため、次年度以降は面的に拡大を進めて参ります。

【担い手推進センター】

①担い手推進センター発足

本年度から「担い手推進センター」が発足しました。担い手推進センターは、生産振興部・生産販売部・生産購買部の3部門連携によりJA系統事業の推進力を強化し、JAと共に農業生産基盤の維持拡大・信州農畜産物の生産販売力強化をすすめます。

JA経済事業の拡大を目指し、JAと本会各事業所による推進チームが地域の担い手へ訪問し、企画提案や課題・要望への解決策を提案します。

【生産販売部】

①長野県青果物・花き取引会議3年ぶりに実開催

生産販売部は6月2日、長野市で青果・花きの主要卸売会社13社の代表を招き、総勢57名が出席し、「令和4年度長野県青果物・花き取引会議」を開催しました。

主催者であるJA全農長野運営委員

会の伊藤茂会長が「本年度の取り扱い目標1, 586億円の達成のため、強い系統結集による恒久的な産地づくりを図り、販売力の強化に取り組む」と挨拶し、本年度生産販売事業の重点方針を説明しました。代表卸売会社3社からは「卸売市場法改正後の流通同行からみた産地対応」「マーケットインによる産地振興」「Withコロナ時代の消費拡大対策と産地対応」について提言をいただき、本年度の安定販売に向けた協議が行われました。



長野県青果物・花き取引会議



トップセールス

②大田市場でトップセールス「クイーンルージュ」グランドデビュー

9月5日、東京都中央卸売市場大田市場で、JA全農長野運営委員会の神農会長と長野県の阿部知事によるトップセールスを行いました。今年から本格出荷するクイーンルージュ®とナガノパール、シャインマスカットを「ぶどう三姉妹®」としてPRし、新たに作成したロゴと擬人化したキャラクターをお披露目しました。試食サン

ルの配布は瞬間になくなり、長野県産ブドウへの関心の高さが感じられました。

【生産購買部】

①ドローンによる請負散布スタート！

生産資材課では県内の防除業者と提携し、ドローンによる農薬等の散布請負事業を開始しました。小回りの利くドローンによる防除は、高齢化や農業従事者の減少の他、病害虫被害による品質低下、更に山間部ではRCヘリが飛びにくい等の理由で水稻を中心に期待され需要が増えています。まずは稲・麦・大豆の液剤・粒剤から開始し、今後は肥料や資材の性能評価および農薬登録拡大に伴い、園芸作物への拡大も検討していきます。

②「JASスマート農業機械体感フェア」開催

長野県農協生産資材事業推進協議会農業機械専門部会は、11月25日(金)と26日(土)の両日、安曇野市の安曇野スイス村サンモリッツにて「JASスマート農業機械体感フェア」を開催しました。フェア詳細については、本誌7ページをご覧ください。

【畜産酪農部】

①鹿児島県で「和牛のオリンピック」開催

5年に一度、全国の優秀な和牛を一堂に集め、改良の成果や優秀性を競う「第12回全国和牛能力共進会」が鹿児島県で開催されました。優秀な成績の和牛は全国的にブランド価値が高まるため、参加道府県の威信をかけた大会です。

出品した本県生産者の皆さんは、全国の優秀な種牛や生産者から刺激を受



全国和牛能力共進会 長野県出品の結果

(敬称略)

	出品区	生産者名(JA名)	名号	受賞内容	出品頭数
種牛の部	第2区(若雌の1) (14~17カ月齢未満)	古原 敬久(長野八ヶ岳)	こはる	優等賞17席	33頭
	第3区(若雌の2) (17~20カ月齢未満)	古原 敬久(長野八ヶ岳)	きらゆき	1等賞1席	32頭
肉牛の部	第8区(去勢肥育牛) (24カ月齢未満の 去勢肥育牛)	(有)小田切牧場(信州うへだ)	愛之助	優等賞13席	58頭
		枝重511.6kg、格付A5、BMS12、落札価格10,060円/kg			
		吉川 俊男(みなみ信州)	宗6	1等賞	58頭
特別区	高校・農業大学校	枝重541.2kg、格付A5、BMS12、落札価格10,050円/kg			
		下伊那農業高等学校	れいん	優等賞23席	24頭

け、次回に向けて取り組もうとしています。長野県の畜産振興のためにも、まだまだやるべきことが多いと感じた大会でした。次回2027年の会場は北海道です。県代表のさらなる飛躍が期待されます。

④乳牛の美人コンテスト「長野県ブラック&ホワイトショウ」開催

長野県の代表的なホルスタイン種を展示して、その改良水準を比較検討し、今後のホルスタイン種の改良と生産者同士の交流をはかる「第48回長野県ブラック&ホワイトショウ」を小諸市家畜市場で3年ぶりに開催しました。



ブラック&ホワイトショウ

出品された25頭の体形バランスなどが審査され、各賞が選ばれました。3年ぶりの開催は、酪農情勢が厳しい中、

出品者同士の有意義な情報交換の場にもなりました。今後も、同志会の仲間づくりと乳牛の改良を一層進めて参ります。

⑤飲用・発酵乳向け乳価の期中改定について

県内酪農家から出荷される飲用・発酵乳向け乳価が2022年11月1日出荷分より期中改定され、飲用・発酵乳向け乳価が1kg10円値上げとなりました。広域指定団体である東海酪連が5月末より大手乳業メーカーと交渉を進め、7月に乳価改定に合意しました。配合飼料や輸入乾牧草など生産資材価格の高騰により困窮する生産現場の現状を受けて2013年10月以来の期中での改定です。

今後は学校給食用牛乳向け乳価の改定について、県行政や県教育委員会に酪農の窮状を訴えて理解を求め、2023年4月からの価格改定を要請しています。今後も、生産コストに見合った乳価設定に向け、関係団体と協議していきます。たくさんさんの牛乳・乳製品を飲む、食べることで県内酪農家を応援していきたいしょう。

【生活部】

①「JAうちエネポータル」の開設

燃料・ホームエネルギー課ではお客様の利便性・満足度の向上を目的にエネルギーポータルサイト「JAうちエネポータル」を2022年5月に開設しました。

JAうちエネポータルではご家庭でのLPガス・配達燃料油・JAでんきのご利用状況をご確認いただけます。

また、JAで開催される展示会や各種キャンペーン情報を発信しており、現

LPガス・配達燃料油・JAでんきの料金やお得な情報を確認できる

JAエネルギーご利用者様向け「JAうちエネポータル」

主な機能

- ご利用明細**
JAでご利用いただいた月々の燃料代の使用量やご利用料金をご確認いただけます。
- お得情報**
JAで実施するキャンペーンや展示会のお得な情報等を配信いたします。
- 配信情報**
お客様へ個別にご案内したい重要な情報を配信いたします。
- 設備保安情報**
ガスで実施させていただく点検の予定時期やお客様がご使用中の機器の情報を掲載いたします。

スマートフォンからのアクセスはこちら

早期ご登録キャンペーン
2022年7月末までに登録されたお客様の中から抽選で100名様にクオカード1000円分をプレゼント!!

キャンペーンの詳細はこちら

当キャンペーン期間後もお得なキャンペーンを実施します。

在は新規登録いただくと抽選で100名様にQ.U.Oカードをプレゼントするキャンペーンも実施中です。今後は5,000件の登録数獲得を目標に推進して参ります。

②カーメンテナンスサービス向上に向けた「キーパーコーティング」の取組み

協同経営SSでは、カーメンテナンス収益アップと顧客満足度向上を目指し、「キーパーコーティング」の取り組みを強化しています。

2022年10月「キーパー技術コン



競技直前の青木達也さん



前列中央：県 1 位 青木達也さん【協同経営（JAながの）志賀高原SS】
前列左端：県 4 位 竹内成美さん【協同経営（JA大北）アルペンロード神城SS】

キーパーコーティング施工SSが17SS、技術取得スタッフは、現在40名在籍しています。
今後もお客様の愛車のためにスタッフ一同、日々技術を磨いてお待ちしております。

テスト」が、3年ぶりに愛知県で開催されました。全国約3,300人が出場する中、協同経営SSからは長野県予選に3名が参加し、JAながの志賀高原SSの青木マナージャーが、長野県チャンピオンに輝き、全日本チャンピオン決定戦に出場しました。全日本決定戦は各県予選を通過した51名で競われ、結果は準決勝敗退でしたが、「お客様に喜んでいただくために、今後も仲間と共に精進したい」と意気込みを語っていました。

協同経営SSでは、

③「クミアイ家庭薬」の事業譲渡

「農村の健康維持の一端を担った」

「農協の薬屋」の永い歴史を引き継ぎ、

生活事業では「クミアイ家庭薬」事業を2022年3月31日に終了し、同年4月1日に協同薬品工業(株)へ譲渡しました。これに伴い、業務委託先の長野県クミアイ家庭薬協議会は3月31日に解散。行政への届出により、10月末に清算を結了しました。

長野県では、昭和9年に全戸常置運動が開始され、太平洋戦争を経て昭和26年に長野県経済連が配置方式で再開しました。昭和40年には長野県クミアイ家庭薬協議会を設立し、業務委託することです事業運営を行ってきました。

配置戸数は152,857戸（配置率75%）、年間回収金額1,209百万円となりましたが、事業譲渡時には配置戸数70,635戸（配置率52%）、年間回収金額は311百万円でした。

近年は全国各県において、協同薬品工業(株)による直販方式または業務委託方式への移行が順次進められてきましたが、2021年3月に全ての県が直販方式へ移行することが決定し事業譲渡することになりました。現在は、協同薬品工業(株)が県下各JAとの契約に

基づき直販方式で運営を行っています。クミアイ配置家庭薬は、永い歴史のなかで「農協の薬屋」として親しまれ、農村における健康維持の一端を担ってきました。事業方式は変わりましたが、今後も「農協の薬屋」として、組合員および地域社会に貢献していきます。

先進農業機械を見て触れて体感！ 「JASスマート農業機械体感フェア」開催

長野県農協生産資材事業推進協議会
農業機械専門部会は、11月25日(金)と26
日(土)の両日、安曇野市の安曇野スイス
村サンモリッツで「JASスマート農業
機械体感フェア」を開催しました。

近年、農業経営における規模拡大や、
高齢化による労働力不足などへの対策
とした作業効率化・省力化が期待され
るスマート農業への関心が高まる中、
当フェアにて導入を提案し、あわせて
系統農機事業・生産資材事業のほか、
スマート農業に関するJAGグループの
取り組みをPRしました。

会場では、農業機械9社、肥料5社、
農薬7社、農業資材3社、生活1社、
生産振興1社のほか、JAGグループか
らの出展も含め、計28のブースを設け、
各社商品説明や商談などを行いました。

■展示会場

屋外ブースではロボットトラク
ター・農業用ドローン・ラジコン草刈
機・バッテリー式機械など、約80台の
先進農業機械を展示。屋内ブースでは

アシストスーツなど作業負担軽減に役
立つ商品の紹介や、担い手向けの大規
格肥料・農薬・農業資材・営農支援シ
ステムを提案しました。

「全国生産者1万人の声×JAG」に
より開発された33馬力中型共同購入ト
ラクターの展示には多くの来場者が足
を止め、パンフレットを手に取り機能
を確認していました。その他、ロボッ
ト農機具の損害共済や農機具ローンな
どの紹介、安曇野警察署の協力による
農作業安全の啓発も行いました。



屋内の展示



屋外の展示

■実演

ロボット農業機械・直進アシスト
トラクター・自動操舵システム付農業機
械は、屋外会場の一角で実演を行いま
した。実演に集まった来場者は、無人
自動走行の快適性や安全性を興味深く
確認していました。また、ドローンの
飛行実演は、特に若い担い手生産者が
多く集まり、実演を確認してから、後
日の商談予約を希望された方が複数い
らっしゃいました。



自動操舵システム付農業機械の実演

今回のイベントはスマート農業関連
機械の紹介説明ほか、省力化に関する
資材の提案などを目的としているため、
会場内での成約を行いませんでしたが、
商談内容などについては、後日該当J
Aへ繋ぎ、今後の事業推進により実績
の確保につなげていきます。

コロナ感染対策のため、人数制限な
どを講じたうえでイベントとなりました
が、2日間で547名(目標600
名)の方にご来場いただきました。今
回初の試みとして開催でしたが、
来場者やメーカー担当者からは「じつ
くり商談ができた」「目的が明確でよ
かった」などの声が聞かれました。2
日間天候にも恵まれ、有意義な体感イ
ベントとなりました。

「第40回牛乳・乳製品利用料理コンクール」開催

長野県牛乳普及協会（事務局／ＪＡ全農長野畜産酪農課）は10月26日（水）、ＪＡ長野県ビルで「第40回牛乳・乳製品利用料理コンクール」の書類審査会を開催し、入賞者9名を選びました。このコンクールは一般消費者、学生を対象に日常の食生活の中に牛乳および乳製品をより活用してもらう動機付けと定着を図ることを目的としています。

応募総数は158点となり、特に高等学校や調理製菓専門学校から多数の応募をいただき、牛乳やチーズ、ヨーグルトなど乳製品を活用した多彩なアイデアが提案されました。厳正なる審査の結果、最優秀賞（長野県知事賞）には、佐々木妙子さん（会社員）の「ミルクご飯deチーズキンパ」が受賞しました。牛乳で炊いた甘めのおいしいご飯を利用し、チーズをアクセントにして韓国のお蕎麦巻きであるキンパをおいしくアレンジした作品でした。詳しいレシピは本誌10ページをご覧ください。

入賞作品は、どれも牛乳・乳製品をメインに活用したデザートや、わさびやソ

バなど信州由来の食品にアレンジを加えた作品が多くみられました。入賞作品は後日、全農長野のホームページに掲載します。

畜産酪農課はこのコンクールをとおり、牛乳・乳製品の普及に努め、今後も後援をいただいた関係団体とともに「安全・安心の信州産牛乳」の消費拡大に努めて参ります。

第40回牛乳・乳製品利用料理コンクール入賞者

(敬称略)

褒賞	氏名	職業・学校	料理名	
最優秀賞	長野県知事賞	佐々木 妙子	会社員	ミルクご飯deチーズキンパ
優秀賞	長野県乳業協会賞	竹村 理輝	長野工業高校	野沢菜のソルガムガレット
優良賞	全農長野県本部賞	塩川 デニズ	自営業	そば粉のミルクミおやつ
優良賞		押野 美優	松本第一高校	わさびとクルミのバスチーズケーキ
優良賞	長野県 牛乳普及協会賞	宮崎 晃成	長野工業高校	信州サーモンを使った生春巻き
優良賞		佐藤 愛実	長野調理製菓専門学校	ミルクピザ
優良賞		井口 由佳子	長野県立大学	パリパリそうめんケーキ乳製品たっぷり使用!
優良賞		草場 日和	長野県立大学	ペロッとお豆腐スコーンサンド
優良賞		木原 喜美子	農業	大根牛乳漬け

「第37回くらしと牛乳、牛さんありがとう」絵のコンクール表彰式を開催

11月12日（土）ＪＡ長野県ビルで、長野県牛乳普及協会主催の「第37回くらしと牛乳、牛さんありがとう」絵のコンクール表彰式を開催し、金賞10名を表彰しました。このコンクールは園児・児童の牛乳利用普及拡大及び酪農理解醸成を目的に開催しています。



前列左から 深瀬悠斗さん、小林 凜さん、小木曾寧久さん、夏目一本さん、齊藤野乃さん、高橋つむぎさん、高橋未咲希さん、久保かぐらさん、西澤春希さん（平林真哉さんは欠席）

第37回「くらしと牛乳、牛さんありがとう」絵のコンクール金賞入賞者（敬称略）

賞	学校・園名	学年・年齢	氏名
長野県知事賞	小川小学校（上水内郡小川村）	5年生	齊藤 野乃
	高山小学校（上高井郡高山村）	2年生	夏目 一本
	日向幼稚園（上田市）	4歳	高橋 つむぎ
長野県教育委員会賞	古里小学校（長野市）	5年生	小木曾 寧久
	川中島小学校（長野市）	6年生	平林 真哉
	東保育園（小諸市）	5歳	小林 凜
（一社）Ｊミルク会長賞	日向幼稚園（上田市）	4歳	高橋 未咲希
	栗丘小学校（上高井郡小布施町）	6年生	久保 かぐら
長野県牛乳普及協会賞	須坂小学校（須坂市）	4年生	西澤 春希
	長沼小学校（長野市）	5年生	深瀬 悠斗

金賞と銀賞の作品は11月にＪＡ長野県ビルと長野県庁で展示し、訪問者の目を引いていました。

応募総数1,202点の中から、厳正なる審査の結果、金賞10名（Ⅱ表紙）、銀賞10名、銅賞10名、佳作9名が選ばれました。

入賞された皆さんの絵は、牛乳を美味しそうに飲まれる姿や、力強い牛が描かれている素晴らしい作品でした。

花き生産者が小学校で出前授業

「花束作りで個性を表現」

J A全農長野果実花き課では、長野県花きイノベーション推進協議会と連携し、花育事業を行っています。今年度、同協議会で実施した公募により、公立の小学校36校を選定し、4,526名に向けて花育を実施しました。



11月22日(火)には、中野市立中野小学校6年1組34名を対象に、花き生産者による出前授業を試験的に行いました。出前授業は、実際に生産者の話を聞き、花に触れてもらうことで、県内産の花きや花農家を身近に感じてもらうことを目的としています。授業では全農長野花き専門委員会花き青年部の江原宏晃部長(J A中野市)が、写真などを使いながら、花農家の楽しさや大変さについてお話しされ、その後はJ A中野市産のトルコギキョウとユーカリを使った花束作り

に挑戦。「個性を大事にしてほしい」と教えられた子供たちは、花々をよく観察しながら、思い思いの花束を完成させました。



子どもたちからは、「とっても綺麗なお花」「上手に出来たからお家でも飾りたい」などの声が聞かれ、満足気な表情が印象的でした。実際に花に触れ、体験してもらったことで、地元の花や花農家に親近感を持つてもらえたのではないのでしょうか。花育事業を県内で実施することで、子どもたちが将来、花の生産をしたいと思うってもらうことも期待しています。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、出前授業は1校での実施となり、他の学校では、県内産花きとテキストを配布し、感想レポートを提出してもらう方法で花育を行いました。今後も、さらなる長野県産花きの認知向上と家庭消費の拡大、担い手の創出に向けて、取り組みを実施して参ります。

「OBCラジオまつりふれあい広場2022」で果実、きのこなどを販売

J A全農長野大阪販売事務所は、信州果実推進協議会青年部会との活動として、11月23日(水)・(祝)に大阪城公園で開催された「OBCラジオまつりふれあい広場2022」に出展しました。コロナ禍で3年ぶりの開催となり、呼び込みなどの声掛けや試食が制限される中でしたが、サンふじ、シナノゴールド、シャインマスカット、きのこセットやジュースなど加工品の販売とPRを実施しました。

サンふじは玉売りに加えて3kgの規格外オープン箱の販売や、10kg入箱の宅配にも対応。このイベントでは初めてシャインマスカットを販売し、きの



こセットは6点入りを200袋限定で販売しました。また、北信の3J Aからも販売応援に駆けつけていただき、



今年の出来具合や生産者の苦労などを来場者に伝えながら販売し、販促とPRに繋がりました。

当日は雨が時折強く降るあいにくの天気でしたが、開場前から多くのお客様が並び、悪天候とは思えないほど賑わい「開催をずっと待ってたよ」「また長野県のリンゴを買えてうれしい」と、うれしい言葉をたくさんいただきました。大阪販売事務所は今後も、長野県産青果物の消費拡大と認知度向上に向けて、様々な取り組みを進めて参ります。

JA全農長野の事業現況▶

令和4年度11月末部門別実績表

(単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		17	—	—
野菜種苗センター		122	91	88
生産振興部計		140	104	100
米	穀	10,470	87	91
果実花き		39,175	102	111
野菜きのこ		59,093	85	97
営業		10,907	84	99
生産販売部計		119,646	90	101
包装資材		5,960	96	108
生産資材		7,582	130	121
農業機械		4,273	92	98
施設住宅		4,775	109	173
生産購買部計		22,590	107	119
畜産酪農		20,478	100	97
三岳牧場		178	104	110
SPF繁殖センター		200	98	99
ハケ岳牧場		137	77	82
畜産酪農部計		20,993	100	97
燃料・ホームエネルギー		17,241	103	104
SS協同経営		4,989	106	107
生活		5,977	102	99
生活部計		28,207	104	103
長野県本部計		191,569	95	103

(内部販売高含む)

1月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
1/13(金) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえがりでい内 「暮らしの応援団」	畜産酪農課

*12/28番組変更に伴う振替放送

1/25(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえがりでい内 「暮らしの応援団」	燃料・ ホームエネルギー課
------------------	------------	----------------------------------	------------------

グリーンレーダーのツイッターを始めました

JA全農長野【公式】グリーンレーダー

@ja_greenradar 🔍



今月のおすすめレシピ

第40回牛乳・乳製品利用料理コンクール
最優秀賞・長野県知事賞受賞レシピ
受賞者/佐々木 妙子さん

ミルクご飯deチーズキンパ



■材料(4人分)

・【ミルクご飯】	『焼肉』
・牛乳……………400ml	・豚肩ロース薄切り……………150g
・お米(一晩浸水させたもの)……………2合分	・焼き肉のタレ……………適量
・塩……………4g	・【にんじんナムル】
・ごま油……………大さじ1	・にんじん……………1本
・白ごま……………大さじ1.5	・ごま油……………大さじ1
【具】『卵焼き』	・塩……………小さじ1/2
・卵……………4個	・コショウ……………適量
・めんつゆ……………大さじ1	・チーズ(一口チーズ)……………6個
・砂糖……………大さじ1	・青じそ……………12枚
・油……………適量	・海苔……………4枚

■作り方

①ミルクご飯の準備

・浸水させたお米の水気を切り、そこに牛乳を入れ炊飯器で炊く。

②具の準備

【チーズ】・1つを縦3等分に切る。

【卵焼き】・材料全部を混ぜ合わせ、2等分し、卵焼きを2つ焼く。それぞれを縦3等分に切り、そのうち1つは半分に切る。

【焼肉】・豚肩ロースに焼き肉のたれを揉みこみ、フライパンで焼く。

【にんじんナムル】・にんじんを千切りにし、ごま油、塩、コショウを入れ揉みこむ。

③炊きあがったご飯にごま油、塩、白ごまを混ぜ合わせる。

④すだれの上に海苔を置き、③を1/4のせて広げる。ご飯の上に青じそ、チーズ、卵焼き、焼肉、にんじんのせて巻く。同じようにあと3本作り、お好みの厚さに切り分ける。

ワンポイント
アドバイス

*ポイントは、お米をしっかりと浸水させておくことです。牛乳でご飯を炊くと少しパリッとした食感になり、甘めの美味しいご飯が炊きあがります。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

令和5年がスタートしました。昨年は、原油価格高騰による物流コスト上昇や新型コロナウイルス感染拡大、ロシアのウクライナ進軍による情勢不安、さらには大幅な円安など、1年間に渡って生活環境に大きな影響を与えました。

また個人的には、健康面で色々あった年でした。春先の尿管結石の激痛に始まり、両足の肉離れ、更には高血圧と大幅な体重増加による数値の悪化等、散々でありました。

そんな中で迎えた令和5年。まだまだ先の見通せない日々が続きそうですが、新しい未来に向かって、一つ一つ課題をクリアしながら突き進んでまいりたいと思います。

最後にこの一年が読者の皆様にとって、健康で素晴らしい年となることをお祈りするとともに、本年も本誌のご愛読をよろしくお願い致します。



(一)

信州産の美味しい

お肉 たまご 牛乳・乳製品 を買って当てよう!

信州の畜産酪農 キャンペーン

令和4年12月1日(木) ▶ 令和5年1月31日(火)

抽選で
合計 **150** 名様
に当たる!

信州産を食べて
元気になり!
信州産を食べて
応募しよう!

生産者への
応援メッセージ
または信州産商品の
感想を添えて
ご応募ください!



信州産畜産酪農品セット 抽選でプレゼント!

実施団体

JA全農長野/JA長野県グループ(農政対策会議)/JA長野県・信州ボーク生産販売協議会
JA長野県・信州肉牛生産販売協議会/JA長野県養鶏部会協議会/長野県生乳生産販売委員会/長野県牛乳普及協会

協賛団体

㈱長野県A・コープ/JA全農長野生活課/JAまごころ宅配/長野県農協直販㈱

特別賞
5名様

信州プレミアム牛肉
ステーキセット



A賞
25名様

信州アルプス牛
モモバラ焼き肉用

B賞
25名様

信州SPF豚
肩ロースしゃぶしゃぶ用

C賞
40名様

信州発元のきヨーグルト・
はちみつドリンクヨーグルトセット

D賞
55名様

JAまごころ商品券
(1,000円分)

合計150名(特別賞5名、A賞25名、B賞25名、C賞40名、D賞55名) ※プレゼント商品は抽選等により廃賞と異なる
場合がございますあらかじめご了承ください。

キャンペーン対象商品

豚肉	●信州ボーク ●信州Aボーク
牛肉	●信州プレミアム牛肉 ●信州和牛 ●信州アルプス牛
牛乳・乳製品 (商品名)	●信州がおいしい農協牛乳 ●農協牛乳プレーンヨーグルト ●信州産生乳100%ヨーグルト ●信州産生乳はちみつヨーグルト ●あづみ野プレーンヨーグルト砂糖不使用 ●あづみ野プレーンヨーグルト加糖 ●デザートヨーグルト ●信州発元のきヨーグルト ●はちみつヨーグルト ●はちみつドリンクヨーグルト ●信州産いちごドリンクヨーグルト
たまご (商品名)	●信州のたまご ●恵 ●カミーちゃんたまご ●菜の花みゆき卵 ●信州黄金たまご
肉加工品 (商品名)	●信州産豚肉使用ロングウィンナー(あらびき、ピリ辛、レモン&パセリ) ●信州産やわらか味付けホルモン(塩味、みそ味、キムチ味) ●農協あらびきボークウィンナー ●国産豚肉ソーセージ(プレーン、はちみつ、ガーリック)

応募方法

店頭に備え付け応募チラシの応募記入欄に、郵便番号、住所、お名前、電話番号、年齢、職業、希望プレゼント商品を明記の上、この用紙で封筒を作成し、信州産の豚肉・牛肉・たまご・牛乳・乳製品・肉加工品を5点以上購入したことがわかるレシートを1口として同封し、84円切手を貼って郵送してください。(レシートは複数枚になっても結構です。)

当選発表

当選者には、商品の発送をもって、発表とさせていただきます。
※応募された「個人情報」は、本キャンペーンの商品の発送のみに使用いたします。

グリーンリーダー1月号(毎月発行) 2022年12月20日発行
発行/JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 第524号
発行人/高田武司 印刷/PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA全農長野ホームページ..... <https://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JAタウン」..... <https://www.ja-town.com>

